

設定—物件設定—設定—必要材寸

〔設定 / 物件設定 / 必要材寸〕

材寸算定対象設定

材寸算定対象設定 **材寸別最低梁成設定**

間隔	最低梁成
1.0P~1.5P未満	150 mm
1.5P~2.0P未満	150 mm
2.0P~2.5P未満	180 mm
2.5P~3.0P未満	210 mm
3.0P~3.5P未満	240 mm
3.5P~4.0P未満	240 mm
4.0P~4.5P未満	270 mm
4.5P~5.0P未満	300 mm

了解 キャンセル

計算上算出された必要梁成から割り当てようとした梁成が105未満となる横架材に関しては小梁として入力している可能性もある為、必要梁成変更の対象外となります。「必要材寸」を実行しても梁成は変更されません。



材寸算定モード設定

材寸算定モード設定

横架材

床梁     Aラシ     Bラシ     Cラシ

小屋梁     Bラシ     Cラシ

母屋     Cラシ

アップ率

最低H

+1

+2

継ぎ手のみ変更

仕口♀材成変更

柱持たせ以外変更する

間隔別の最低梁成を参照する

了解 キャンセル

材情報

材番号 1025 荷重計算 自動計算

材長 874.0

材巾 105

材成 105

樹種 ドラフトム

等級 特1等

荷重

最大スパン長 910.0

集中荷重数 0

等分布荷重数 1

下材荷重数 2

勾配 0.0

材料パラメータ

荷重計算 柱荷重チェック

必要材寸

2 F 桁・梁

材番号	[1025]	[長期]	[たわみの長期]
材長	[ 87.40]cm	○支点反力(N)	○支点反力(N)
材巾	[105]mm	A 794.021	A 649.057
材成	[105]mm	B 794.021	B 649.057
樹種	[ドラフトム]	[短期]	[たわみの短期]
等級	[特1等]	○支点反力(N)	○支点反力(N)
最大スパン長	[ 91.00]cm	A 794.021	A 649.057
勾配	[0.0]	B 794.021	B 649.057
長期最大曲げモーメント	18061.785(N・cm)	○部材低減率	
短期積雪最大曲げモーメント	18061.785(N・cm)	せん断力 1.0	
長期最大せん断力	794.021(N)	ヤング係数 1.0	
短期積雪最大せん断力	794.021(N)	○許容たわみ量	
断面2次モーメント	1012.922(cm <sup>4</sup> )	長期 1/300	
断面係数	192.938(cm <sup>3</sup> )	(1.0cm)	
ヤング係数	1000000.000(N/cm <sup>2</sup> )	短期 1/300	
		(4.0cm)	
◆曲げ応力度率		○必要材寸	4.6(9.0)
長期[○]短期積雪[○]		○断面欠損低減率	
長期許容曲げ応力度	1034.000(N/cm <sup>2</sup> )	0.0%	
短期積雪許容曲げ応力度	1504.000(N/cm <sup>2</sup> )	○たわみ変形増大係数	2.0
長期最大曲げ応力度	93.615(N/cm <sup>2</sup> )		
短期積雪最大曲げ応力度	93.615(N/cm <sup>2</sup> )		
有効断面係数	192.938(cm <sup>3</sup> )		
◆せん断応力度率			
長期[○]短期積雪[○]			

必要材寸105未満の為、梁成は変更されません。